



小島友実の あの馬の STORY



フロールシータ

4月12日・福島・未勝利戦・ウイナーズサークル

まだ勝ちあがれていなかつて3歳馬にして、なかなかハーフイヤーにならなかった未勝利戦。まわは一勝を求める馬たちにとっては結果を出す事が求められますが、名顧客も様々な取り組みをしておりますよね。そんな中、一戦一戦のレースぶりや敗因を活かして、「トド」マーク戦田で貴重な1勝田を手にしたのがフロールシータです。

トドアージハーブ産駒のこの牝馬は、1歳の11月の段階で約490kgと大きめの馬体をしていたとの事で、管理する高柳瑞樹調教師も初めて見た時の印象をいつ振り返ります。

「去年の夏前に牧場で見ましたが、栗毛の雄大な牝馬というのが第一印象でした。将来は良い競馬をしてくれそうだと感じたのを覚えてますよ」

去年の夏に美浦へ入厩。「従順で調整しやすくて馬」だったとの事でゲート試験も一蹴り合格して、10月の新潟競馬場、芝2000mでデビュー戦となつました。

「調教での折り合にもつてしまつて一つも大きかったので、ある程度距離のある芝で「トド」マークとなつました。10着でしたが4コーナーで不利がありましたからね。能力的にはもうと走れるはずだと思つました」

「戦田からダートを走つてこまむが、あれには何かな理由があつました。

まだ勝ちあがれていなかつて3歳馬にして、なかなかハーフイヤーにならなかった未勝利戦。まわは一勝を求める馬たちにとっては結果を出す事が求められますが、名顧客も様々な取り組みをしておりますよね。そんな中、一戦一戦のレースぶりや敗因を活かして、「トド」マーク戦田で貴重な1勝田を手にしたのがフロールシータです。

トドアージハーブ産駒のこの牝馬は、1歳の11月の段階で約490kgと大きめの馬体をしていたとの事で、管理する高柳瑞樹調教師も初めて見た時の印象をいつ振り返ります。

「去年の夏前に牧場で見ましたが、栗毛の雄大な牝馬というのが第一印象でした。将来は良い競馬をしてくれそうだと感じたのを覚えてますよ」

去年の夏に美浦へ入厩。「従順で調整しやすくて馬」だったとの事でゲート試験も一蹴り合格して、10月の新潟競馬場、芝2000mでデビュー戦となつました。

「調教での折り合にもつてしまつて一つも大きかったので、ある程度距離のある芝で「トド」マークとなつました。10着でしたが4コーナーで不利がありましたからね。能力的にはもうと走れるはずだと思つました」

「戦田に後藤騎手が乗つてくれた時、『使ふる脚に持続性がある』との事で、今後の乗つ方にこどもアドバイスして貰いました。だから福島戦の時も

「前脚の捌きに少し硬さが出てるので、じぶつたのでターミンの方が良くなかった」となりました。馬格もあるのでね。ただ中間のゲート練習から「トド」マークの足が怪しそうで、レースでも出遅れて着。この後から更にゲート練習を始めたところになつました」

その効果もあり、3戦目の中山戦ではゲートの出も少し改善。しかし結果は8着で騎乗したブノワ騎手からは「集中して走つてない」との指摘があります。

「アーティストの馬で、確かにそんな所が見受けられたのですが、確かに次はチーケーの馬を着用する事になりました」

そこでその福島戦で嬉しく初勝利を挙げたのでした。

「あわて良くスタートしてはなかなか伸びず、伸びずでそのまま中で行き脚がつき、吉田隼人騎手も流れを読んで上手く乗つれましたね」

この時、吉田騎手は3コーナー手前からの動きでこどもがいのように途中から動いてこどもがいのように途中から動ける事を教えてくれたのは後藤浩輝騎手だつたそうです。

「2戦目に後藤騎手が乗つてくれた時に期待したのです」

今年開業4年目で毎年、勝ち星を伸ばしていく高柳厩舎。クリーンハーバーの馬を預かるまでのフロールシータが最初との事で、「まわは一つ勝たせてあげられて本当に感動がたゞます。これからも頑張ります」と笑顔で話してくれました。フロールシータと高柳厩舎の今後も活躍に期待したいですね。

「前脚の捌きに少し硬さが出てるので、じぶつたのでターミンの方が良くなかった」となりました。馬格もあるのでね。ただ中間のゲート練習から「トド」マークの足が怪しそうで、レースでも出遅れて着。この後から更にゲート練習を始めたところになつました」

その効果もあり、3戦目の中山戦ではゲートの出も少し改善。しかし結果は8着で騎乗したブノワ騎手からは「集中して走つてない」との指摘があります。

「アーティストの馬で、確かにそんな所が見受けられたのですが、確かに次はチーケーの馬を着用する事になりました」

そこでその福島戦で嬉しく初勝利を挙げたのでした。

「あわて良く良くスタートしてはなかなか伸びず、伸びずでそのまま中で行き脚がつき、吉田隼人騎手も流れを読んで上手く乗つれましたね」

この時、吉田騎手は3コーナー手前からの動きでこどもがいのように途中から動いてこどもがいのように途中から動ける事を教えてくれたのは後藤浩輝騎手だつたそうです。

「2戦目に後藤騎手が乗つてくれた時に期待したのです」

今年開業4年目で毎年、勝ち星を伸ばしていく高柳厩舎。クリーンハーバーの馬を預かるまでのフロールシータが最初との事で、「まわは一つ勝たせてあげられて本当に感動がたゞます。これからも頑張ります」と笑顔で話してくれました。フロールシータと高柳厩舎の今後も活躍に期待したいですね。

profile

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜19:00~20:30)、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンには馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。